

2016年3月期 第3四半期 決算発表後 IR 活動での Q&A

Q：全体：3Q累計（2015年4月～12月期）の業績が、前年同期（2014年4月～12月期）比で、売上が205億円（12.6%）増加、営業利益が48億円（47.8%）増加した理由は？

A：売上に関しては、SE（半導体機器事業）、GP（印刷関連およびプリント基板関連機器事業）、FT（液晶関連機器）の3事業において、主力製品を中心に増加し、営業利益は、研究開発や為替による海外経費などの固定費が増加したものの、売上増加と変動費率の改善効果により1.5倍ほどに増加しました。

Q：全体：当期の業績予想を売上・利益ともに上方修正したが、主な要因は？

A：SEの堅調な受注状況と、FTの計画以上のコストダウン効果を加味し、下期と通期予想を下記のとおり修正しました。

（単位：億円）	上期・実績	下期予想	通期予想
売上	1,298	1,216 ←11月予想: 1,191	2,515 ←11月予想: 2,490
営業利益	108	96 ←11月予想: 86	96 ←11月予想: 195

Q：SE事業：第3四半期の受注が予想よりも上振れした背景は？今後の見通しは？

A：第3四半期の受注は386億円で、11月予想より上振れました。元々は、第2四半期（367億円）と同程度または微減を予想していましたが、メモリー（特にDRAM）が予想を上回ったことが主な要因です。

また、第4四半期の受注は、さらなる増加を見込んでいます。

Q：GP事業：毎年増収はしているが、営業利益をさらに伸ばすための戦略は？

A：北米を中心にPOD装置需要が順調に伸びると見込んでいるほか、消耗品販売を含むポストセールスの強化などにより、収益性の改善に取り組んでいます。製品ラインナップは揃っているため、販売戦略の見直しを図りつつ、主力製品であるPODの販売拡大、収益改善を進めています。

Q：FT事業：下期と通期予想を上方修正（売上、営業利益ともに）したが、その理由は？特に利益の押し上げ要因は？また、受注トレンドと今後の見通しは？

A：下期に売上予定の中小型用（高精細パネル用）が、予想よりも早くコストダウン効果を発揮したことが主な理由です。また、足元の受注動向は、第3四半期は99億円、第4四半期は大型TV用、中小型用ともに需要は旺盛で、さらに増加する見込みです。

以上